

健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト

—新たな人体解析システムの確立と地域に根ざした機能性食品の開発—
(プロジェクト概要)

プロジェクト 構成

研究代表者：板村裕之(生物資源科学部・教授)，他36名

- 脳・内臓系 (胎児・新生児・小児疾患の早期診断および治療グループ)
(生活習慣病の予防と治療および QOL改善グループ)
(認知症の改善グループ)
- 骨格系 (骨折の予防と治療グループ)
- 評価系 (機能性と安全性の評価グループ)

概要

生涯豊かで健康な生活を目指し、「よりよく生きる」「よりよく食べる」「よりよく暮らす」を合言葉に医学部，生物資源科学部，総合理工学部などの研究者が集まり，連携して研究を行っています。

特色 研究成果 今後の展望

本プロジェクトの特徴

①3つの分野からのアプローチ

脳・内臓系

- 胎児・新生児・小児疾患の早期診断および治療
- 生活習慣病の予防と治療およびQOL改善
- 認知症の改善

骨格系

- 骨折の予防
- 骨折の治療

評価系

- 安全性と機能性の評価



②研究内容の情報発信「島大サイエンスカフェ」

研究とあわせて重要なものと考えているのが，研究内容を一般の方に知っていただくことです。

そのため，「島大サイエンスカフェ」を毎月一度の割合で開催しています。お茶を飲みながら気軽に科学の話題に触れていただき，研究者と市民の双方向のコミュニケーションにより理解を深めていただくことを目的に，喫茶店や公民館・道の駅などを会場としています。

研究と情報発信(社会貢献)を車の両輪として，健やかな長寿社会の実現に向けて努力してまいります。



島大サイエンスカフェ各会場の様子